

Imagin21

創今  
造人

Beautiful Energy



奈良の風景 装飾文様に魅せられて

奈良のartist たんぼぼの家

まちかど探索 錦秋の奈良

NARA 道の駅 伊勢本街道 御杖

日本経済は安倍政権の政策により、デフレ脱却と経済の好循環が始動しつつあります。ただ、2014年夏は各地で「数十年に一度」の異常気象に見舞われ、個人消費の落ち込み、景気動向指標の下方局面への変調など、経済の見通しは予断を許さない状況です。

さて、奈良大学の先生方によるリレー連載では、左右対称など幾何学的な配置に特徴がある「正倉院文様」を奈良の風景として取り上げて頂きました。元々、人は物事を考える際に、「生と死」「物と心」「自然と人間」など、二つに分けて考えることが多いとされます。その考えは本来、間違っており、人間は勝手な利権で物事を斟酌し、現在の仕組みが構築されてきたと感じます。何事においても、バランス感覚が大事だと、改めて気付かされました。

世の中の現象を一線で分かつ考え方と対極にあるものの一つが、芸術です。誌面では今年開設10周年を迎えた「たんぼぼの家アートセンター-HANA」で活動するハンディキャップ・アーティストのみなさんの芸術表現に迫りました。こうあるべきという概念のない“自由”を感じます。同時に、彼らの創作活動が「仕事」である点にも共感します。

多様性や共生に加え、新語としての「地方創生」がキーワードになる時代です。社会はまだ人もモノも都市圏に集中するシステムです。しかしアイデアやコミュニケーションが高い価値を持つことと、地方のハンディは無関係ではないでしょうか。向寒の候、豊かに生きるとはなにか、を想像する季節にしたいものです。

代表取締役社長 近東 宏佳

Imagin21



リレー連載	世界遺産	奈良の風景 10	.....	1 ~ 3
奈良の artist 08		たんぼぼの家	.....	4 ~ 5
まちかど探索		錦秋の奈良散策	.....	6 ~ 7
NARA 道の駅	station 7	伊勢本街道 御杖	.....	8 ~ 9
Essay		印刷文化逍遙 28	.....	10 ~ 11
特集		奈良の城 九	多聞城	..... 12 ~ 13

## 職場風土改革促進事業への取り組み

少子高齢化社会にあって、これからは益々多様な働き方が企業に求められております。一方、働く人は、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）をより重要視する中において、企業としてはそれらを必要十分に充足する環境づくりが不可欠であります。

弊社は、平成14年にはISO14001を認証取得、また18年にはプライバシーマークを取得するなど、時代のニーズに合致した経営推進に努力してまいりました。そして、労働時間等設定改善法が施行されて（平成18年）以後、社内で委員会をたちあげ「有給休暇を取得しやすい環境づくり」をめざし、残業が避けて通れない業界にあって、残業時間を少しでも減少する努力なども含め企業理念の中にある「人間生活の向上」に邁進したいと考えております。

人間生活の向上とは、従業員の仕事と家庭の両立を支援することと大きく関係しており、具体的な取り組みは下記の通りです。

仕事と家庭が両立できる働きやすい会社作り  
(ワーク・ライフ・バランスの推進)

**2** 育児・介護休暇制度の充実を図る  
その制度を利用しやすい環境作り  
管理職層への研修の実施  
両立支援制度の労働者への周知徹底

代表取締役社長 近東 宏佳



わたしたちができる環境づくり

自然との共存を図りながら  
限りある資源を大切に使い環境を守っていく  
私たちは時代に役立つ企業であり続けたいと考えます

編集 / 制作 / 発行  
共同精版印刷株式会社 <http://www.kspkk.co.jp/>

本社：〒630-8013 奈良市三条大路2丁目2-6 TEL 0742-33-1221 FAX 0742-33-7035  
大阪支社：〒542-0082 大阪市中央区島之内1丁目12-3 TEL 06-6271-7951 FAX 06-6271-7954  
東京支社：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5丁目6-4 TEL 03-3802-4741 FAX 03-3802-4740



世界遺産  
The World Heritage

リレー連載

# 奈良の風景

## 10

〜装飾文様に魅せられて〜

奈良大学 文化財学科 講師 栗田 美由紀

今に生きる正倉院文様

「正倉院文様」とよばれる文様がある。奈良の正倉院に伝わる宝物の文様をモチーフにしたもので、異国風の華やかな雰囲気と左右対称など幾何学的な配置に特徴がある。染織品や陶磁器といった工芸品の装飾に使われるほか、ミュージアムグッズのデザインとしても人気で、最近では奈良らしさを演出した小物にも使われている。私は古代の装飾文様を研究テーマにしているので、古い文様をデザインに取り入れたものを見かけると、つい気になってもとの作品は何か、どんな風アレンジされているのかを見てしまう。

## 西アジア起源の樹下動物文

こうした正倉院文様の中でよく目にするものの一つに、正倉院宝物の「鹿草木夾纈屏風」写真1 からとった意匠がある。

興福寺のお堂に下げられた幕（戸帳）の染文様として使用されているほか写真2、市販の一筆箋や懐紙のデザインにも使われているので、見たことのある方も多いのではないだろうか。

描かれた木の幹は細く、すらりとおだやかだ。濃厚な唐風というよりは、むしろ後の和風文様に近い印象がある。鹿は春日神のお使いであり、奈良公園のシンボルでもあるから、現代の私たちに親しみやすく、また奈良らしい文様にも感じられる。

このような木の下に一對の動物を向かい合わせた文様を「樹下動物文」という。奈良時代にはたいへん人気があった木の形や組み合わせる動物にはさまざまなバリエーションがある。その起源ははるか西方にあり、今

から3000年以上前のメソポタミアの円筒印章にすでに同じ意匠をみることができている。

中央の樹木は生命の木。世界の中心にある聖樹で、命の根源をあらわすといわれる。西アジアではナツメヤシの木を左右にライオンやヤギ、ヒツジを組み合わせる例が多い。乾燥地帯に暮らす人びとにとつて、ナツメヤシの実が食料として有用であるだけでなく、神への信仰とも結びついた生活、文化に密着した植物である。ヒツジやヤギも遊牧生活に欠かせない動物で、ライオンは王権に関わる聖なる獣でもあった。それが中国へ伝わると、花をつけた木と鳥を組

み合わせることが多くなる。気候も文化的背景も異なる東アジアでは本来の意味は失われ、異国風なデザインを楽しむために、より華やかな装飾性の高い文様へと変化したのだろう。

ところで、樹下動物文は東へのみ伝わったのではない。西アジアからさらに西方へも伝播する。ヨーロッパでは樹下動物文はやがてキリスト教美術や紋章のデザインにも取り入れられた。キリスト教美術では、中央にキリストの復活や勝利、永遠の命を象徴する十字架や壺を置き、その左右にヒツジやクジャク、あるいはグリフィンという鷲とライオンを組み合わせた空



写真4 ヴェネツィア サン・マルコ寺院のレリーフ

想上の動物を置く構図などがあらわれてくる写真4。異なる文化の中で文様が新たな意味づけをされて変容した例といえるだろう。



写真1 鹿草木夾纈屏風 (正倉院)



写真3 戸帳が吊り下げられた興福寺東金堂(手前)と五重塔(奥)



写真2 興福寺の戸帳

ヨーロッパの街角で

日頃、このようなことをつらつら考えながら過ごしている、時に思わぬ発見がある。

大学の研修旅行で学生とともにスペインを訪れた時のこと、レストランでたまたま出されたミネラルウォーターの瓶のデザインに樹下動物文が使われていた写真5。中央の木の下面には3本の波線が引かれているが、これは水をあらわしている。生命の木は楽園あるいは聖なる高い山の上にあるといい、そこには全世界の水の源となる聖なる泉があるという。その

泉から4本の大河が流れ出て、地上に水がいきわたるのである。ミネラルウォーターの商標デザインにはまさにうってつけといえよう。

また、パリでは犬のレリーフと水盤を組み合わせた例を見かけた写真6。バーの壁につくられた、散歩中の犬のための水飲み場である。中央の水盤は生命の泉をあらわしており、不死、復活の象徴である。左右の犬は犬の楽園の守護天使ということになるのか。なんと粋なデザインだろう。この水盤で水を飲んだ犬はたちまち元気になること間違いなしである。

遠いむかし、はるか西方の乾燥地帯で生まれた文様が大陸を渡り、8世紀の奈良に届いた。同じ文様は世界中に広まり、今も私たちの生活の中に生きている。現在に至るまでこの文様は



写真5 スペインのミネラルウォーター

どれだけの人を介し、どれだけの距離を旅してきたのだろうか。正倉院ゆかりの文様を前に、私の心は平城の昔から唐の

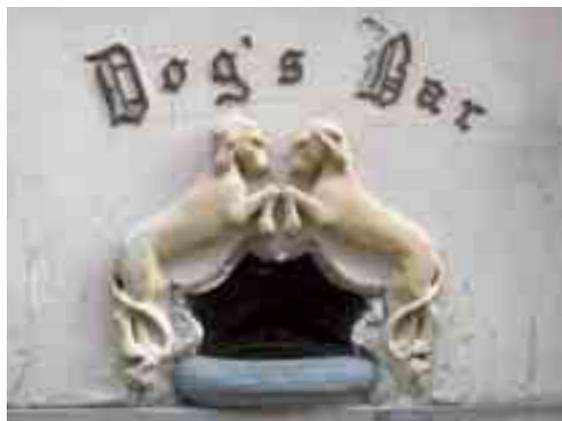


写真6 バーの壁に作られた犬用の水飲み場(パリ)

都へ、そしてユーラシア大陸を飛び回り、数千年のタイムトリップを楽しむのである。

栗田 美由紀

[くりた みゆき]

群馬県高崎市出身。奈良大学卒業後、IT関連企業を経て同大学院へ進学。奈良大学大学院博士前期課程修了。現在、奈良大学文学部講師。専門は仏教美術史、文様史。主な論文、著書に『猪名川町所在木喰仏調査報告書』、『仁和寺蔵宝相華迦陵頻伽時絵冊子箱の文様について』(『美術史』155号)、『正倉院宝物花樹獅子人物文様の意匠について』(『仏教芸術』318号)、『山溪カラー名鑑 仏像』(山と溪谷社、共著)など。



奈良の  
artist

08

# たんぽぽの家

アートセンター  
HANNA

色が踊り、線が動き、立体が跳ね、意外性が広がる。創造力をあふれんばかりに解き放つのは、障害とともに生きるアーティストたち。自由、爽快、肯定、驚きのアートの世界に誘われ、『たんぽぽの家アートセンター HANNA』の施設長・成田修氏にギャラリーとアトリエを案内していただきました。

Masashi Yamano

## みんながアーティスト

社会福祉法人わたぼうしの会（理事長・播磨靖夫氏）はアートを通して、障害のある人たちの社会参加と仕事づくりを進めています。その活動の拠点となるのが、今年開設10周年を迎えたアートセンターHANA（奈良市六条西）です。

新しい出会いに期待してギャラリーとアトリエにお邪魔すると、そこには、押し寄せる発想の大波小波。絵あり、書あり、立体造形あり。さらに、語り、ダンス、織物など。個性と感性の百貨店のようなアートの連続。身体障害や知的障害、それらの重複障害などのある幅広い年代

の49人がそれぞれの表現活動に取り組んでいます。

「ここではみんながアーティストです。彼らのアートは生活であり仕事。お互いに戸惑いやぶつかることもありませんが、刺激しあって創作していますよ」と成田さん。ギャラリーに展示された彼らの作品たちは独創性に富み、アトリエでは今まさに制作中の真剣な顔がいくつもありません。

初めから全員がアーティストであるわけではありません。メンバーは絵や造形、何でも挑戦し、そのうえで持てる能力を發揮できるようにスタッフが手を差し伸べます。

自然やいのちを力強い線と豊かな色彩で描く作品で活躍する山野将志さん（右ページ写真）は

アートセンターHANAで、可能性が開花したひとりです。障害のある人たちが潜在的に持っている好奇心やこだわりが解放されたときに生まれる表現。それがHANA流アートだといえそうです。

## アートを仕事にしていく

制約のない大らかなアートは、「こつこつという表現もありなんだ」とイメージションを飛躍させてくれます。作品を元にしたTシャツ、レインブーツ、トレジャー、アクセサリー、絵はがき、ポスターといったグッズも販売され、新たな展開を生み出しています。

彼らの創作エネルギーはどこから湧くのでしょうか。成田さんは「アーティストとの出会いだったり、作品を見てくれる人に自分で説明をしたり、そうした関係性を築くことがつくる喜びになっています。また、アートを経済的に自立する

仕事にしているという感覚もモチベーションになっていきます」と話します。

障害のある人がアートによって働く意義を知り、成果を喜び、それらを社会で実感しあうこと。この思いをひとつのかたちにした新たな拠点が2016年春に誕生します。奈良県香芝市に開設予定の「Good Job! センター」です。障害のあるなしに関わらず、誰もが自分を社会で肯定できる生き方・働き方を実現していくことを目指しています。

個展を開催したり、グループ展を企画したり、民間企業とコラボレートして商品デザインに採用されたり。表現する楽しさに目覚めた49人のアーティストたちの世界に引き込まれたら、なかなか離れることができません。「おもしろい、楽しい、わくわくする」が長続きするアートなのです。



『Good Job!展 2014』  
障害者のアート作品や社会とつながる取り組みの事例などを全国5カ所で開催します。

2014年 11月21 - 24日: 北海道札幌市 2015年 1月23 - 25日: 福岡県福岡市  
11月28 - 30日: 東京都渋谷区 3月6 - 8日: 兵庫県神戸市  
12月12 - 14日: 愛知県名古屋

詳細およびその他の最新情報は、公式サイトでチェック <http://popo.or.jp/index.html>

ギャラリーは  
企画展期間中の他も見学可能です。  
ご希望の方は、0742-43-7055へ  
問い合わせください。  
(奈良市六条西3-25-4)

# 奈良県

# 錦秋の奈良散策〜秋の名所八選〜

秋を迎え、奈良の町は紅に色づき始める。鮮やかに彩られる名所の数々。秋の奈良散策を楽しもう。



カエデなど

<アクセス> 近鉄奈良駅からバス忍辱山下車、徒歩約2分

## 円成寺

奈良市

見頃 11月中旬〜11月下旬

天平勝宝8年(756)に唐僧・虚龍(こりゆう)が開山したと伝えられる柳生街道の名刹。1990年に再建された多宝塔にある、国宝の大日如来坐像で有名。苑池(えんち)から眺める堂々とした佇まいの楼門は、みごとに紅葉と重なり合い、訪れた人の目を楽しませてくれる。



ナンキンハゼ、イチョウ、カエデなど

<アクセス> 近鉄奈良駅から徒歩約5分〜30分 JR奈良駅からバス大仏殿春日大社前下車すぐ

## 奈良公園

奈良市

見頃 10月下旬〜12月上旬

たくさん鹿が出迎えてくれる奈良公園は、紅葉スポットとしても人気のお出かけ先。歴史的建造物とのコントラストも絶妙で、風情ある自然散策を楽しむことができる。園内に休憩所やベンチなど、一息つける場所が充実しているのもうれしいところ。



ススキなど

<アクセス> 近鉄大阪線名張駅から三重交通バス首爾高原下車、徒歩約15分 車:名阪国道針ICから国道369号經由で約1時間

## 首爾高原

首爾村

見頃 10月上旬〜11月下旬

奈良県と三重県の県境にある、関西では有名なハイキングスポットで、見渡す限りのススキが群生する景色が堪能できる。年間の平均気温が13℃と涼しく、散策や登山を楽しむにはちょうどいい環境。ハイキングコースも整備されているので、年配の方でも安心。

## 平城宮跡

奈良市

見頃 10月～11月



ススキなど

<アクセス> JR・近鉄奈良駅からバス平城宮跡下車、近鉄大和西大寺駅下車徒歩約10分

第一次大極殿西の池のまわりでススキの穂が広がり始めると、暑かった奈良盆地にも秋の訪れ。草原に寝転んで天を仰げばさえぎるものはなく、青空に雲がふわふわと浮く。ジョギングを楽しんだり、暗くなつてから月や星を見に訪れるのもいいかも。

十三重の塔を中心に、大小様々な社殿が配置されている神社。多武峰の深い木立が全山で紅葉するさまは見ごたえがあり、3000本もの紅葉に包まれる境内は、壮大にして圧巻。ライトアップは、11月15日(土)～11月29日(土)。

## 談山神社

桜井市

見頃 11月中旬～12月上旬



カエデ、サクラ、イチョウなど

<アクセス> JR・近鉄桜井駅からバス談山神社下車、徒歩約3分

写真提供:一般財団法人奈良県ビジターズビューロー



カエデなど

<アクセス> 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分

## 長谷寺

桜井市

見頃 11月中旬～12月初旬

「花の御寺」とも呼ばれ、初瀬川沿いは紅葉が山間を彩る。とくに仁王門から399段の登廊の先にある本堂・外舞台からの景色や、山内の堂塔伽藍が花に包まれる眺めは、まことに壮観で息をのむほどの美しさ。

## 名勝依水園

奈良市

見頃 11月～12月



ドウダンツツジ、イロハモミジ、ハゼなど

<アクセス> JR・近鉄奈良駅からバス県庁東下車、徒歩約3分

前園と後園、ふたつの池泉回遊式庭園を組み合わせた広大な日本庭園。東大寺南大門や若草山を取り入れた借景は、一味違った奈良を体験させてくれる。真っ赤なドウダンツツジや、日一日と色づくイロハモミジが、ゆつくりとした時の流れとともに楽しめる。

写真提供:一般財団法人奈良県ビジターズビューロー / 撮影者:澤戩三



カエデなど

<アクセス> 近鉄壺阪山駅からバス壺阪寺前下車、徒歩約50分

## 高取城跡

高取町

見頃 11月中旬～12月上旬

標高583・9mの高取山山頂に築かれた山城。南北朝期に築かれ幕末まで続いた城で、美しい城であったが、現在は石垣だけが残り、秋の紅葉の名所として知られている。見頃は11月23日(日・祝)開催の「たかとり城まつり」前後。



# 道の駅



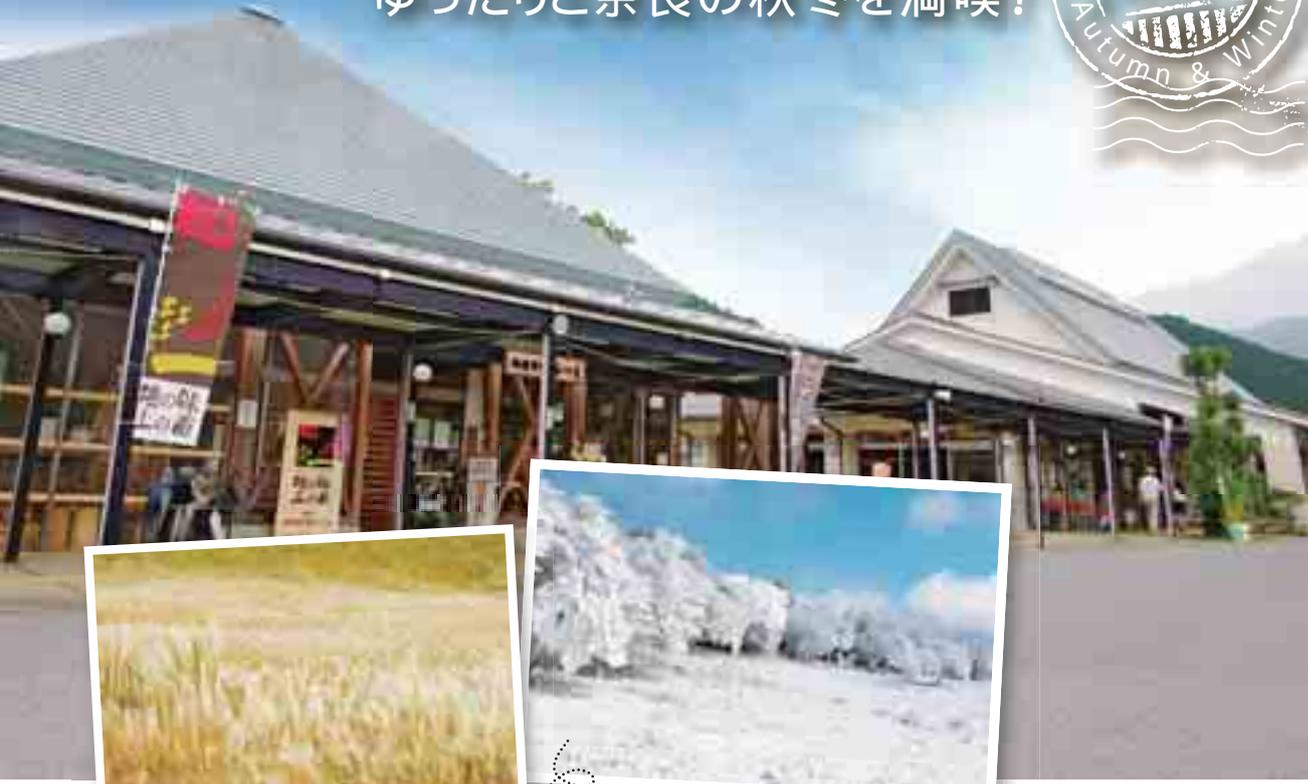
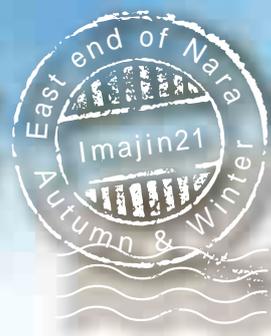
station

7

## 伊勢本街道・御杖

恵み豊かな自然の中を進む伊勢街道  
自慢の天然温泉と美しい景観の中  
最高のリラクゼーションを

天然温泉のある癒しの道の駅で  
ゆったりと奈良の秋冬を満喫!



近隣の曾爾高原は秋の名勝として有名です



三峰山の霧氷はその幻想的な風景を  
観ようと毎年多くの登山者が訪れます

道の駅伊勢本街道・御杖は今年10周年を迎えました。野生の鹿も生息する大自然に囲まれ、利用者の多くが夏のキャンプや、これからの季節なら冬は三峰山の霧氷、近隣では秋の曾爾高原のススキを楽しむに訪れます。お土産物コーナーでの道の駅イチオシは地元で獲れる鹿のハム。自然の恵みと密接に関わる道の駅なのです。

一番の特徴は駅構内にあるみつえ温泉「姫石の湯」。「美肌の湯」や「ぬくもりの湯」と呼ばれる泉質を持った優しい温泉です。2つの大浴場をはじめ、露天風呂、つぼ風呂、樽風呂、気泡風呂、打たせ湯、座湯、サウナ、ゆったり休める無料休憩室があります。近くには倭姫命やまとひめのみことが女性病の全快を祈願したといわれる「姫石明神」があり、安産、縁結びの明神として知られる隠れた名所です。肌寒くなるこれからの季節、秋化粧、冬化粧の美しい景色を楽しんだ後、温かい温泉で癒されてみませんか？



### 道の駅伊勢本街道 御杖

奈良県宇陀郡御杖村神末6330  
(国道368・369号沿い)  
営業時間:10:00~20:00  
(但し、AM11:00より営業の施設あり)  
休業日:毎週火曜日(祝日の場合は営業)  
年末年始は休館になります。  
トイレ・駐車場・公衆電話は24時間利用可  
駐車場:93台 普通車90台、大型車3台  
問合せ:TEL.0745-95-2641  
ホームページ  
<http://www.vill.mitsue.nara.jp/kanko/>

- ◎お食事処「山桜」  
営業時間:11:00~14:30  
(14:00 オーダーストップ)
- ◎街道市場「みつえ」  
営業時間:10:00~17:00  
休業日:火曜日



御杖村  
キャラクター  
「つえみちゃん」

地元食材を使ったメニューが豊富  
御杖村ならではの味覚が楽しめます

お食事処「山桜」特選メニュー



やまとひめぜん  
倭姫膳



大和肉鶏照焼丼



みつえ温泉  
姫石の湯  
ひめし

大自然に囲まれた温泉施設。泉質は中性単純温泉。その効能は神経痛、筋肉痛、関節痛、うちみなど様々。大自然でたっぷり遊んだ後は、ゆっくりと温泉につかって癒しの時間を満喫してください。  
営業時間:11:00 ~ 20:00 (19:30 最終受付)



へたら餅

御杖村産の黒豆たっぷりの大福餅です。優しく上品な味です。  
土曜・日曜のみの販売。  
夏販 8月頃 は販売してない期間があります。



お漬物 (源五漬)

地元で丹精込めて育てられた野菜の漬物です。昔ながらの手作りの味が人気です。



鹿ハム・鹿しくれ煮

すべて御杖村で獲れた鹿を使用しています。臭みがなく、脂肪分が少ないので女性におすすめです。

御杖村のお土産を買おう

おすすめがいっぱい



鹿の角細工

県外からのお客様に人気の奈良らしいお土産です。美しい見た目に加えて迫力も満点です。

御杖の特産品は自然の味と美しさがいっぱい



御杖の地酒

御杖村の大地と水に育てられたおいしいお酒です。



みつえブレンドコーヒー

人気ブランド「焙煎工房森の珈琲屋」。自然がいっぱいの御杖村の山の中でコーヒー豆の焙煎をしています。



昔みそ・昔こんにやく

御杖村で収穫したこんにやく芋と大豆を使った無添加の手作りこんにやくと味噌です。

# 印刷文化逍遥

28

## 印刷あれこれ 時々寄り道

印刷のない日常を想像してみよう。本がない、教科書もない、新聞もない。切手も、紙幣も、医薬品の説明書もない。至極不便であるし、なんとつまらない日常であろうか。スマートフォンさえあればというわけにはいかぬ。印刷にはまだまだ頑張ってもらわねばならない。

そういう私は長く印刷業に携わってきた。通常、印刷物といえば紙とインクと文字・写真で構成されるが、「枚」や「頁」「冊」で数えられるもののか、商品の箱（容器）のように「個」で数えられるものもあつておもしろい。

年齢を重ね、電車に乗る機会ほとんど減ったが、近鉄電車奈良大阪間を頻繁に往復してい

た頃を思い返してみると、「奈良行特急」などと表示された行き先板が先頭車両の「鼻」に付いていたのを思い出す。

この行き先表示板は確か手書きではなかったと記憶している。板はスチール製だと思われるが、特殊な印刷方法であるスクリーン印刷で仕上げるのが可能だ。印刷（プリント）ではなく、塗装（ペイント）によるものもあつたかもしれない。

街や幹線道路沿いを通るとき、大型看板などでは、それ自体に文字や写真を印刷せず、フィルムシートや耐光・耐水など特殊加工された紙にいったん印刷し、それを看板本体に貼り付ける作業に出くわすこともある。

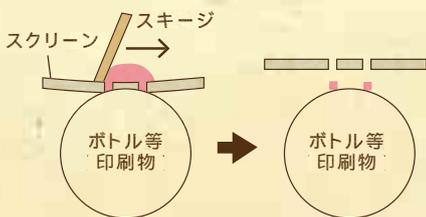
しかし、印刷の中心はなんと書いても書籍であろう。少なくとも江戸時代の流通本は手作業の印刷であった。木版刷りは、文字通り一枚の板に一字ずつ文

## さまざまなニーズに応える特殊印刷

### スクリーン印刷

孔版

スクリーン印刷は孔版印刷の一種で、スクリーン(紗)を用いた版を使用する印刷方法。インクをスキージというヘラで掻き、スクリーンに空けられた穴(孔)から印刷物へ転写し印刷する。いろんな種類の材質や形状・サイズに印刷できることが特徴で、プラスチックボトルやTシャツ等への印刷で用いられる手法の一つ。



#### おもな印刷物

- ・Tシャツ
- ・大型看板
- ・CD, DVD
- ・ゲーム機
- ・スポーツ用品
- ・パッケージ
- ・陶磁器 etc

すでに成形されたトートバッグへの印刷も可能

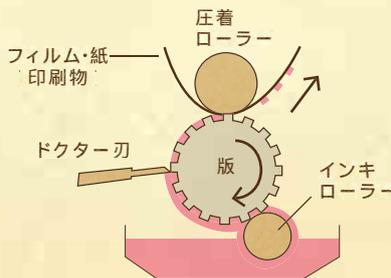


印刷できる形や材質が幅広い

### グラビア印刷

凹版

グラビア印刷は凹版印刷の一種で、版は円柱状の金属ロールにセル(溝)が形成されており、セルの大きさや深さの違いで濃淡を出すことができる。紙だけではなくフィルム軟包材といった素材にも色鮮やかに印刷できるので、食品やお菓子のフィルムパッケージに用いられている。



#### おもな印刷物

- ・食品パッケージ
- ・レジ袋
- ・美術書
- ・写真集 etc

切りそろえられた枚葉紙ではなくロール原反を使用

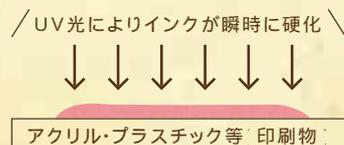


高精細な写真印刷に適している

### UVインクジェット印刷

無版

UVインクジェット印刷はUV(紫外線)硬化インクを使用したダイレクトプリント。UV光を印刷直後に照射すると、瞬時にインクが硬化・定着するためプラスチックや金属・アクリルなどに印刷することができる。無版で、版を作る必要がなく、小ロットにも向いている。スクリーン印刷では再現が困難だった細かい部分の印刷を綺麗に仕上げる事が可能。



#### おもな印刷物

- ・ウィンドウシート
- ・マグネットシート
- ・スマホケース
- ・等身大パネル
- ・ボールペン etc

ショーウィンドウの装飾・広告に活用されている



ボールペンに直接印刷されている細かい文字などが綺麗に印刷できる



江戸時代の版木（西川祐信絵本『絵本若草山』）

字を反転に彫り込み、墨を塗った上に紙を置き、バレンですって刷り上げる。  
たいへんな手間がかかる手作業であるが、かつてはこれが当たり前の印刷であった。すべてが職人技によって成し遂げられていたのだ。木版刷りの古書は、私のような好事家には垂涎の的である。

現在では、水と空気以外なんでも印刷可能だと言われる。  
本当だろうか。周りを見渡すと、紙以外に、タッパー容器、ドリンク缶、Tシャツがすぐ目につく。そうそう、常備してある錠剤にもなにやら記号めいたものが印刷されている。  
こうして見ると、印刷もさまざまな方面に進出し、複雑化していることがわかる。情報伝達の担い手としての「印刷」が持つ効果と重要性は、今や人々の生活の中に根づいている。15世紀にグーテンベルクが活版印刷機を發明して以来、印刷は人々に幸福をもたらしてきた。

印刷には計り知れない意義があるとあらためて感じている。  
そうした中で、人類に最も貢献している印刷物は辞書であるというのが持論である。私は、かつての職業柄、国語辞典と漢和辞典に育てられた一人だ。手紙を書くとき、本を読むとき、辞書は欠かせない私は、国語辞典では「広辞苑」

（岩波書店）、漢和辞典では「大漢和辞典」（大修館書店）を愛用している。辞書だけは、少々高くついても、信頼できる良いものを選ぶことが大切である。

本稿のテーマ「印刷あれこれ」からは若干外れてしまいが、老婆心ながら申し上げると、日本人にはやはり漢字が大切である。広く本を読み、分らない漢字があると面倒がらずに辞書を引いて、読み・意味を調べることがを励行してほしい。さらには、「へん」「つくり」、成り立ちにまで目を向けると、漢字の深さを思い知ることができる。

若い世代の「漢字語録」が頼りなくなっていると言われるが、私はまだまだ漢字文化は捨てたものではないと思っている。  
文章を書ける、書籍を読めるのは、学んできたからである。特に私は、英文学者の福原麟太郎氏（1894年 - 1981年）の文章はお手本のように立派な日本語だったと記憶している。  
いつものように思いつくままペンを走らせ、自分の体験や身の回りから見聞いたことを書き連ねた。この歳になると、書くことよりも、読むことを通して印刷に触れる機会が多くなって

きた。今は「井伏鱒二全集」（筑摩書房）を完読することを夢見て、物語を楽しんでいる。



## 嘉瀬井 整夫

[かせい ただお]  
1934年京都市に生まれる。  
1949年より94年まで印刷産業に従事。  
奈良県立短期大学（現奈良県立大学）卒業。

主著『井伏鱒二私論』  
『奈良大和路文学散歩』  
『奈良高畑日記抄』ほか。  
文芸評論家。



特集

# 奈良の城 九 多聞城



奈良坂越京都街道

(写真提供：奈良市)

## 大和・一國支配の拠点城郭として

奈良の北郊多聞山(現在、奈良市立若草中学校の校地)に、中世の城としては、最到達点<sup>1</sup>、もはや「近世の城の嚆矢」<sup>2</sup>と評価してよいのではとさえいわれる城がありました。戦国武将松永久秀の築城した多聞城です。

戦国時代末期の永禄2年(1559)、主君三好長慶<sup>2</sup>の命により大和に侵攻した松永久秀は、信貴山城を修復してこれに拠り大和の国家の制圧を図るとともに、大和一國支配の拠点となる城として多聞城を築きました。

中世の大和において守護として君臨してきた興福寺を脚下に見下ろす、標高115mの眉間寺山(久秀が多聞山と改称)を城地として選定し、大和・奈良の国人・町衆らには仰視させて、その城の壮麗さに大和の新たな支配者たることを示す、まさに近世の城の特色である「見せる城」を意図して多聞城を築城したものと考えられます。久秀は、多聞城内での棟上げを奈良の町衆に見物させるというデモンストレーションもやっています。

奈良にも多くの城が存在した。時代の流れと共にそれは城跡となり、私達の心から忘れ去られようとした。再びその存在を知り、そこに息づくエピソードを紐解く。それは、私達のルーツを知ることになる。

## もちろん、「守る城」としての軍事

戦略上からも、奈良と京都を結ぶ幹線道路奈良坂越京都街道を抑える上からも、この地は築城に好適な地点でした。

のちに多聞城は織田信長に明け渡すこととなりますが、信長も大和支配の拠点城郭としてこの城を活用したのです。

## 瓦葺屋根に白壁の城

多聞城を訪れた神祇官家で従二位の吉田兼右が、「華麗驚耳目了(華麗さに驚いた)」とその日記「兼右卿記」に記しています。また、ポルトガル人宣教師ルイス・ステ・アルメイダは、「世界中に此城の如く善且美なるものはあらざるべしと考える。」と本国への書簡で述べています。

さらにアルメイダは、「多聞城の家は、塀や櫓もいしよで、とても白く光沢のある壁を塗っている。家や櫓は、指一本分の厚さがある、いろいろな形をした真鍮黒な瓦で覆っている。御殿に入ると、室内は、金箔地に描いた絵で飾られていた。…」などと、多聞城の姿を具体的に書き

<sup>2</sup> 三好長慶  
戦国時代末期、畿内から四国にかけ十ヶ国を領有した戦国大名。松永久秀は信賴されたその家臣。

<sup>1</sup> 近世の城の嚆矢  
現在、近世の城(近世城郭)の嚆矢(最初)は織田信長の安土城とされている。多聞城の築城はそれより十数年早い。近世の城の特色は、石垣・瓦葺屋根・礎石建物、そして城主への求心性、政庁と統合した「見せる城」など。



『奈良県史跡名勝天然記念物調査抄報第10輯』より

### 多聞城跡実測図

昭和22年からの若草中学校建設工事に先立って測量されたものです。頂上南東部の一段高くなっている所に四階建ての櫓があったと考えられます。



### 多聞城跡の石標

若草中学校正門を入ったところに建っています。



### 多聞城復原推定図

イラスト：香川元太郎（西ヶ谷恭弘「復元図譜 日本の城」理工学社刊より）



## 多聞城の歴史にふれる



### 堀切跡

敵の侵入を防ぐため、多聞山と東側の善称寺山との間を深く掘り下げた跡です。西側でも、聖武天皇陵との間にみられます。



### 出土した墓石・石塔類

多聞城築城に当たって、石材の確保に近在の寺院・墓所から多数の墓石・石塔類を徴発し、利用しました。城跡から出土したそれらを集め、供養されている一画が若草中学校正門を入ったすぐ右手にあります。450年の時を経た五輪塔などが、多聞城の歴史を語りかけます。

残しました。また、興福寺の僧の日記『多聞院日記』には、多聞城に四階建ての櫓(天主閣にあたる)と考えられていることが記されています。加えて、多聞城内に畳面100帖分が運び込まれたことを示す手紙が京都の東寺に残っています。

多聞城跡発掘調査で瓦<sup>3</sup>が出し、礎石の存在も確認されましたので、多聞城はアルメイダが記したことく、瓦葺屋根に白壁の建物をはじめ、多くの構築物で構成された壮麗な城であったことがうかがえます。

近世の城を飾る長屋造りの多聞櫓も、その創始はこの多聞城といわれています。

### 城郭史上画期的な城

織田信長の命令により、多聞城は築城からわずか10数年で破却されることになるのですが、その際主殿(御殿)は京都の信長の屋敷に、四階建ての櫓は安土城に、それぞれ解体して運ばれ再利用されたと考えられています。信長によつて再利用されるほどの建物があった多聞城だったのです。「安土城のモデルは多聞城」、「多聞城を真似た安土城」という説もあります。

戦後すぐの中学校建設工事により、その遺構をほぼ失った多聞城は、まさに「幻の城」となりましたが、城郭史上画期的な城だったのです。(元若草中学校教諭/北村 雅昭)

所在地 奈良市法蓮町1416-1

アクセス 電車 / 近鉄奈良線「近鉄奈良」より徒歩約20分

バス / 奈良交通バス「今在家」より徒歩約5分

車 / 県道369号線転害門前の市営駐車場より徒歩約5分

3 多聞城の瓦

出土した瓦の多くは、多聞城築城に際し成形されたもので、城郭専用瓦の嚆矢といわれています。

命が吹き込まれる

木林があり



たんぼぼの家「アートセンターHANA」ギャラリー

Imajin21

今  
創  
造  
人

悠久の歴史の流れ、古の都は  
今も、その面影を色濃く残す  
いくつものドラマがあり  
新たな時代が生まれた  
そこから先人の英知を知り  
人を見つめ直す  
そして「今」を創造す

樹が育ち

KYODO SEIHAN PRINTING

KSP

そして紙ができ



本誌は、「FSCミックス認証紙」を使用しています。

